

◎ 2005FIA 世界ラリー選手権(WRC)第3戦ラリー・メキシコ ペター・ソルベルグ スウェーデンに続き、2勝目！ (3/13)

2005 FIA WRC第3戦、ラリー・メキシコが3月11-13日に行われ、スバルワールドラリーチーム(MOTUL)のペター・ソルベルグが、第2戦のスウェディッシュ・ラリーに引き続き2連勝を収めた。

インプレッサWRC2005のデビュー戦となった、今回のラリー・メキシコで、ペター・ソルベルグはスタートから一度も首位を譲ることなく、6度のステージウインを獲得して、トップフィニッシュをした。これでペターはドライバーズランキングトップに踊り出ることになり、ニューマシンの最高のデビューを飾った。

FIA新レギュレーション:「1基2戦」

2005年からはWRCには、1基のエンジンを2戦で使わなければならない、という新しいFIAレギュレーションが導入された。また、ホモロゲーションで仕様をイベントごとに変えることも禁止されている。

これにより、2戦のうち最初のラリーでは、限界までプッシュすることが難しくなり、セーフティーマージンを残すことが必要とされる。また、今まではメキシコやアルゼンチンのように高地のイベントでは、技術仕様もエンジンの圧縮率も違うもの使っていたが、今回のメキシコ(標高2000m以上)と次戦のニュージーランド(標高数百m)は同じエンジンで走らなければならない。そのため、両イベントでのベストの折衷点を見つけることが必要とされる。

次戦は4月8-10日、ラリー・ニュージーランド。



Copyright © STI



Copyright © STI

